

ICTブルドーザ 複雑な勾配に自動ブレード制御が大活躍！

ICT活用工事に初挑戦
高精度な施工に期待！

■ ■ 現場詳細 ■ ■

福島県白河市

県道の道幅がかなり狭くて危険なため、歩道のある安全な新しい道路をつくる工事

【ICT施工範囲】延長 72.4m

【施工土量】盛土 4,234m³

【ICT建機】D37PXi/PC128USi

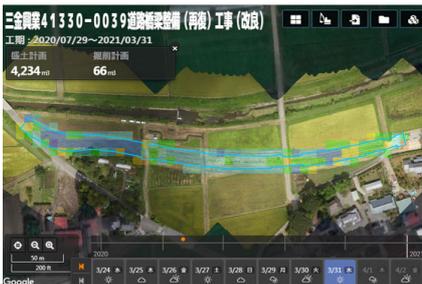
【ソリューション】ドローン測量

スマートコンストラクションアプリ

■ ■ 導入経緯 ■ ■

三金興業(株)

土木営業グループ チーフ 山内正之さん
数年前にデモでICT建機を使用したことがあり、その際、ICT建機は社内で神様と呼ばれる熟練オペレータの技術にも負けないくらいの高精度だと話題になりましたが、現場での導入には至っていませんでした。当社でもいよいよICT活用工事に初挑戦しようと数カ所候補を出し、現場の規模や内容を考慮したところ、今回の路体盛土、路床盛土の施工で、まずはやってみようという導入を決めました。



土木営業グループ チーフ

山内正之さん

福島県
三金興業(株)様

創業1926年

Enjoy Through Construction

～建設を通じて人生を楽しみましょう～

時代の先取り健全経営

協調融和を旨とし

地域社会の幸福と繁栄のため

建設を通じ真心を持って奉仕する。

掲載月:2021年8月

D37PXiで工期短縮へ！
オペレータの負担も軽減

■ ■ 導入効果 ■ ■

三金興業(株)

土木営業グループ チーフ 山内正之さん
この現場は、着工するまでに約1ヶ月の遅れが出ていましたが、D37PXiの自動ブレード制御のおかげでカバーできました。設計変更で横断勾配がS字のような複雑な形状になり、従来建機であれば熟練オペレータでもかなり苦勞するので、あと10日は必要だったと思います。ICT建機は、ブレードが3次元設計データ通りに自動で制御されるのでオペレータはあれこれ考える必要がなく楽に作業ができ、この現場では精度は3cm以内におさまりました。また、手元作業員は常に建機の傍にいないでも良かったので、別な作業を進めることができ、現場の生産性向上に繋がりました。スマートコンストラクションアプリでは、建機モニタの画面を共有しながら電話をすることで、話の行き違いも無くデータの確認や書類作成ができました。今後はさらに効率が良くなる計画を立ててICT活用を進めていきたいと思っています。

